

第 2 期 決 算 公 告

2020年3月25日

東京都新宿区新宿一丁目8番1号
株式会社ダイナック
代表取締役社長 田中 政明

貸 借 対 照 表

(2019年12月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	2,311,647	流 動 負 債	4,932,711
現金及び預金	107,663	買掛金	107,874
売掛金	1,429,102	短期借入金	3,146,110
商 品	590	未払金	176,959
原材料及び貯蔵品	139,034	未払費用	793,557
前払費用	253,556	未払法人税等	19,229
未収入金	133,247	未払消費税等	426,749
そ の 他	248,453	前受金	9,759
固 定 資 産	8,218,171	預り金	136,929
有 形 固 定 資 産	4,306,490	前受収益	85,060
建築物	3,677,168	役員賞与引当金	6,242
構築物	121	資産除去債務	24,239
工具、器具及び備品	551,772	固 定 負 債	691,168
建設仮勘定	77,428	資産除去債務	691,168
無 形 固 定 資 産	34,130	負 債 合 計	5,623,880
ソフトウェア	25,007	(純資産の部)	
そ の 他	9,123	株 主 資 本	4,905,938
投 資 其 他 の 資 産	3,877,549	資本金	100,000
長期前払費用	17,509	資本剰余金	6,168,078
繰延税金資産	458,816	資本準備金	25,000
敷金及び保証金	3,399,423	その他資本剰余金	6,143,078
会 員 権	1,000	利益剰余金	△1,362,140
そ の 他	799	その他利益剰余金	△1,362,140
		繰越利益剰余金	△1,362,140
		純 資 産 合 計	4,905,938
資 産 合 計	10,529,818	負 債 ・ 純 資 産 合 計	10,529,818

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

- 時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法によっております。
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております)
- 時価のないもの 移動平均法による原価法によっております。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

- 商品・原材料及び貯蔵品 最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)によっております。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産(リース資産を除く)

定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

②無形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

③リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(4) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

②役員賞与引当金

役員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

(5) 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。

2. 当期純損失

449,245千円